

## 美唄グリーン・ツーリズム研究会

【美唄市】

### はじめは？

平成12年(2000年)、個々で直売や体験農園を行ってきた農業者やグループのネットワーク化、さらに、美唄の自然・文化・人々との交流などを楽しむ滞在型の余暇活動に関する調査・研究を目的に設立されました。

近年は、関西地方を中心とした修学旅行生を受け入れ、農業体験を通じて「癒やし・学び・感動」を与え、人と人の触れ合いを通して、農業振興と観光振興の両面から地元の魅力を発信しています。



修学旅行生の農業体験の受入れ  
(なすの支柱立て作業の様子)

### おもな活動



修学旅行生が水稲の補植作業を体験

将来の消費者である子供達に農業の大切さを理解してもらうことを目的に、農家民泊による体験型の交流活動により修学旅行生を受け入れ、農業と農村の良さを伝えています。また、農業体験を通じて食に関する関心を深めてもらい、食べることの大切さや「いただきます」の大切さを肌で感じてもらう活動を行っています。

美唄グリーン・ツーリズム研究会には美唄市内の美唄地区、峰延地区、中村地区等の広域における農村地域の農家が加入して活動しています。

また、水田地帯である美唄地域では、修学旅行生に光珠内調整池等の土地改良施設を案内して、土地改良により水田が改良され、現在のようなおいしいお米が栽培されるようになったことを説明しています。

### ここが自慢

#### 【農家民泊を通じた交流】

農家民泊により、交流人口の増加、道内外旅行客へ向けての美唄・空知・北海道のイメージアップ、さらには、若い世代に農家の姿を伝え、食と命について考えてもらうことにより、人づくり、まちづくりへとつながっています。また、市内の温泉施設の割引利用、弁当業者の昼食提供等、補完・相互・協力関係を築いています。

子供達が農業を継がなくなり、若い人達が減少してしまいましたが、修学旅行生達が入ってきてくれることにより、笑い声が響き、にぎやかになることは、受け入れる側の農家にとっても喜びです。

農家民泊に訪れた生徒から、卒業後、第2の父母として結婚式に招待される等、その後の交流も続いています。



修学旅行生を見送る受入れ農家

### データ

■代表者:川島浩さん／設立:2000年／会員:31名

■連絡先:美唄市西3条南1丁目1-1 美唄市役所経済部商工観光課内

■電話:0126-63-0112

■FAX:0126-62-1088